

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
平成25年度活動報告書



認定NPO法人アルテピアッツァびばいへ

公益につながる活動を支援しやすいように、NPO法人への寄附について税制上の優遇措置が受けられるよう認めるのが認定NPO法人の制度です。NPO法人のうち、一定の要件を満たす法人は、所轄庁（都道府県又は政令指定都市）から認定を受けることができます。現在、全国で約5万あるNPO法人のうち、500団体あまりが認定NPO法人となっていますが、新寄附税制や改正NPO法施行により認定要件が緩和されていることから、今後ますます増えていくと思われます。

NPO法人アルテピアッツァびばいが認定NPO法人になったことにより、皆様からいただいたご寄附、団体会費が税制上の優遇措置の対象となるほか、法人自身の法人税軽減となる「みなし寄附金制度」も利用できることになりました。

NPO法人 アルテピアッツァびばい

は、平成26年2月10日より、

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

になりました。

ギャラリー

カフェアルテ・体験工房

アトスペース

その他

4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

8月10日～18日
「思い出の炭鉱写真展」&
「炭鉱映像館」



1月26日～2月5日
「炭鉱の記憶をキーワードにした
アートプロジェクト」展

4月27日・28日・29日
安田侃の「こころを彫る授業」

6月22日
第15回アルテの「森語り」



6月29日
「ポポロミーティング」

9月21日
第16回 アルテの「森語り」
9月22日・23日
安田侃の「こころを彫る授業」



12月22日
第17回 アルテの「森語り」

12月15日・12月21日
3月23日・3月30日

小学生のための「こころを彫る授業」

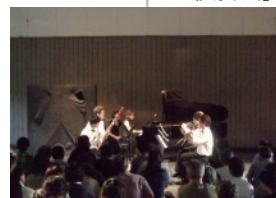
4月13日
安田侃講演会
「地方文化の発祥地・トスカーナ」

5月18日
林峰男チェロリサイタル

6月1日
第26回「森の広場の音楽会」

7月14日
「アルテの四季コンサート」
vol.3 2013夏

7月21日
PMF2013美唄公演
「PMFアンサンブル演奏会」



8月25日
イリス弦楽四重奏団
アルテピアッツァコンサート

9月7日
安田侃講演会
「イタリア：アートと歴史とまちづくり」

11月16日
第27回「森の広場の音楽会」

2月22日
安田侃氏北海道文化賞
受賞記念祝賀会



6月15日・7月7日
アルテで灯す
「こころをキャンドル」作り
7月27日
「VIVA逢フェスタNEXT-ONE
『耳なし芳一〜真夏の夜の夢幻』」
8月13日
アルテの盆踊り



8月18日
てくてく美唄炭鉱
-再度我路編-

10月27日
「秋のポポロウォーキング」



1 施設および環境の維持・管理・保全（美唄市指定管理者事業）



本年度は、アルテピアッツァ美唄を訪れるお客様に気持ちよくご利用いただけるよう、日々の芝刈りやメンテナンスを怠らないよう気をつけました。「水の広場」の清掃は4月から11月まで、月に1～2回行いました。また、「水の広場」から「音の広場」へ続く階段も整備されました。昨年度に引き続き美唄市と協議をすすめた結果、アートのスペース裏口への塀の設置や、ギャラリーの車椅子階段昇降機

のメンテナンスが実施されました。また、「帰門」と「真無」の照明設備の修繕も行われ、日の短い冬場でも、照明によって、安全に園内を散策し、彫刻をより美しくご覧いただくことができるようになりました。

夏期における芝のメンテナンスは、乗用芝刈機が新しい機種に更新されたことで、より細やかに草丈を調節することが出来ました。また、機械を使えない、園路の雑草や秋口の

落ち葉拾いなどについては昨年度に引き続き、ボランティアの方々を行う毎週土曜日の「クリーン会」を実施し、景観を守ることに尽力しました。今年度は、地元のボーイスカウトや中高生など、子どもたちにもボランティアに参加してもらうことができました。引き続き、お客様にアルテピアッツァ美唄の美しい景観を楽しんでいただけるよう力を注いでいきます。

2 来訪者への対応（美唄市指定管理者事業）

今年度は四季を通し、2万6千名を越えるお客様にお越しいただきました。訪れてくださるみなさまに、アルテピアッツァ美唄に流れる時間を感じていただき、心地よく過ごしていただけるように、お手伝いする気持ちで対応いたしました。

北海道の空知管内を巡るバスツアーなど団体のお客様がお越しになることも多く、事前にご連絡をいただいた場合にはできる限り、スタッフによるアルテの施設の概要をご説明するとともに、この場所を守るための活動についてもお話しさせていただきました。

来年度は札幌での国際芸術祭開催に伴い、海外からの来訪者が増えることも予想されます。課題となっておりましたアルテピアッツァ美唄リーフレットの英語版を作成いたしました。海外の方にも心地よい時間を過ごしていただけるよう努めていきます。

3 コンサート・イベント（美唄市指定管理者事業）

通常は作品展示空間としてご覧いただいていますアートスペース（旧体育館）は貸館としても多くご利用いただきました。今年度は、20のコンサートや講演会、発表会が行われました。毎年楽しみにされている方も多く、チェリスト・林峰男さん、イリス弦楽四重奏団などの公演の他、市内ピアノ教室の発表会など地域の文化活動の場としてもご利用いただきました。

また、夏には「水の広場」を舞台に、美唄出身の日本舞踏家・花柳鳴介さん（舞）、デーモン閣下（歌と朗読）によるイベント「VIVA逢フェスタ NEXT-ONE『耳なし芳一〜真夏の夜の夢幻』」（NEXT-ONE実行委員会主催）が行われ、美唄市内や北海道内外からたくさんの方にお越しいただきました。



4 展覧会 (美唄市指定管理者事業)

木造校舎 2階奥の教室は「ギャラリー」としてご利用いただいています。絵画、陶芸、写真など様々なジャンルによる 23の展覧会が行われ、今年度はアルテ市民ポポロの方にも多くご利用いただきました。また、例年行っています美唄市内の小中学生の各作品展は地元の方だけでなく、市外からお越しのお客様からも好評です。

展覧会と併せて、スタジオ(体験工房)にてオープニングパーティやワークショップを開催される方など、利用の幅も広がっています。アルテピアッツァ美唄の空間の一部である当ギャラリーのあり方をご理解いただきながら、利用者の希望を伺い、その都度対応をすすめました。

5 体験工房スタジオアルテの活用 (美唄市指定管理者事業)

今年度は、NP0主催事業「こころを彫る授業」関連の利用を中心に多岐にわたる利用がありました。7月には活版印刷、11月には自然素材を使った籠づくりなど、ギャラリーでの展覧会開催者によるワークショップが開かれました。また、行政視察や大学生の授業での見学の際には、DVDや PCを用いたアルテピアッツァ美唄の紹介を行いました。2月には、隣接するカフェ閉店後の時間帯にコンサートが開催され、コンサート会場としてのスタジオアルテの可能性がひとつ開けました。

また、市内中学校による美術の授業での利用のほか、市内の幼稚園と連携し、「こころを彫る授業」の会場や道具の見学を通じて、子

どもたちによりアルテピアッツァ美唄に興味を持ってもらう取り組みもしました。今後は、小中学校の授業や幼稚園のワークショップ・交流の場としてスタジオアルテを活用していただけるよう、利用促進のはたらきかけを行っていきます。



6 「こころを彫る授業」(体験工房スタジオアルテ活用事業)



「こころを彫る授業」は、誰もが参加できる彫刻の授業です。石と向き合うことで自分と向き合い、目にみえない自身のこころが「かたち」となることを目指します。

今年度はのべ34日の開催でした。NP0スタッフが毎月担当する「こころを彫る授業」には、のべ175名が参加され、彫刻家安田侃さんが直接指導をする「安田侃の『こころを彫る授業』」は4月と9月に行い、道内外から146名

の方にご参加いただきました。開始から7年が経ち、さらなる参加を呼びかけるため、来訪者はもとより、様々なイベントでリーフレットを配布し、積極的に広報しました。また、小学生を対象にした、「小学生のための『こころを彫る授業』」では今年度より、ノミ・ゲンノウも使用し、より“こころを彫る”意識が高まりました。4回開催し、美唄・札幌はもとより道内外あわせて38名の参加がありました。

7 炭山(やま)の記憶(炭山<ヤマ>の記憶事業)

お盆には、かつて美唄炭鉱に縁のあった方が多く帰省されます。「お帰るなさい」の気持ちを込めて毎年この時期にギャラリーで「思い出の炭鉱写真展」を開催しています。当法人主催として3回目になる写真展は「炭鉱の四季」をテーマに、季節の移り変わりを写真で紹介しました。立体造形として、三笠市の元炭鉱マンより寄贈いただいた「栄小学校の全体模型」を展示しました。自分の学んだ教室を探す人もいて、とても充実した展覧会になりました。写真展初日には「思い出の映像館」と称し、美唄市在住の金沢俊美さんが制作された、炭鉱閉山前後の暮らしの映像を展覧会会場で上映しました。2部制の上映会に、合わせて 130名の方がお越しくださいました。往時を思い出す金沢さんのトークに、お客様も相槌をうちながら加わり、思い出が思い出を呼ぶ上映会になりました。

8月 13日には「アルテの盆踊り」を開催しまし

た。140名の方が参加してくださいました。盆踊りは炭鉱夫にとって、大きな楽しみで、櫓のまわりを夜通し 2重、3重になって踊りました。アルテピアッツァ美唄では地域の盆踊りを継承し、「北海盆唄」を太鼓の音頭で踊ります。また、沢山の方にひとつずつ手作りしていただいた「こころキャンドル」を夕暮れより池と流路に灯し、この日だけの特別な「水の広場」になりました。事前に踊りを教えてくださり、当日も盛り上げてくださった地域の方、こころキャンドル作りに参加してくださった方、たくさんの方に支えられ開催できました。

8月 18日は「てくてく美唄炭鉱―我路編―」、去年に続き 2度目の開催で、かつて美唄炭鉱に縁のあった方々とお話しながら、商店街として栄えていた「我路地区」を歩きました。我路在住の方が参加者に「待っていたよ」と笑顔とトウモロコシで迎えてくださり、参加者も感激されていました。

8 情報発信(広報事業)

アルテの“いま”を伝えようと、年に数回発行し、アルテ市民ポポロの方々に送付する他、施設内や全国の美術館で配布している「アルテ通信」を、今年度は5月、9月、2月の3回発行しました。また、「アルテ通信」を初めての方にも、手にとっていただきやすくし、よりアルテの魅力が伝わる内容にしようと、来年度のリニューアルに向け準備をすすめました。ホームページではイベント欄を定期的に更新したほか、アルテピアッツァ美唄の日々が伝わるようにと、写真と文章でのブログも週2〜3回の頻度で更新しました。

また、全国的な美術雑誌への掲載や、「北海道のアートを巡る」といった旅行者向けの特集記事への掲載が増え、さらなる来訪者増が期待されます。

9 アルテ市民ポポロ活動（アルテ市民ポポロ事業）

イタリア語で「市民」を意味するポポロ。アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ「アルテ市民ポポロ」制度を発足して4年目でした。ポポロが増えることで、未来へのバトンは確実なものになっていきます。来訪者への呼びかけやリーフレット配布など積極的な広報を行い、新規参加を増やすよう務めました。

年に3回発行しているアルテ通信や催しのお知らせの他、市民証やクリスマスカードはポポ

ロのみなさまにだけお届けしました。

6月29日にはスタジオアルテにて「第4回ポポロミーティング」を開催し、第一部に活動報告、その後は「ポポロが描くアルテの未来ワークショップ」と題して、アルテピアッツァ美唄をこれからも未来へ繋げていくために、「あったらいいなこんな美術館」をテーマに自由な発想を出し合うワークショップを行いました。10月27日に実施した「ポポロウォーキング」では講師に林業試験場の対馬俊之氏を迎え、普段

は歩けないアルテピアッツァ周囲の森を歩きました。散策後は美唄ポポロの方が作ってくださった美味しい豚汁とおにぎりでも温まりました。2月・3月に開催した「ポポロワーク」ではリニューアルした「ばたばたアルテ」を完成させる作業にご協力いただきました。この冬に3000部近く完成させることができました。みなさまと仕上げた「ばたばたアルテ」は、寄附箱に寄附をくださった方へのお礼として配布しています。

10 団体との連携による事業（連携事業）

芸術文化の活動などに関わる団体との連携のもと事業を実施しました。

7月 21日の「PMFアンサンブル演奏会」は、PMF組織委員会と共催し、PMFボランティアハーモニーの協力を頂き、アートスペースで開催しました。のべ 200名近い入場者が、将来を期待される各国から集まっ

た若手音楽家たちによる演奏に聴き入り、曲ごとに熱い拍手が響いていました。出演者の方も夏のアルテピアッツァ美唄の水の広場を楽しんでいたのが印象的でした。

また、公益社団法人日本建築家協会（JIA）による「JIA建築家大会 2013北海道」にあわせ、9月 7日に安田侃講演会「イ

タリア：アートと歴史とまちづくり」がアートスペースで開催されました。道内外から多くの方が集まり満席となり、イタリア在住 42年の安田侃さんの、ローマやフィレンツェ、ミラノなどで行った大規模な野外彫刻展のスライドを交えた話に耳を傾けました。

11 アーカイブ（アーカイブ事業）

アルテピアッツァ美唄の 20年あまりの歩みを記録にとどめるアーカイブの整備を今年度より始めました。安田侃さんの活動や施設の開設に向けた美唄市の取り組みについての記録を整理・保存し、アルテピアッツァ美唄の空間を次世代につなげるために役立てることを目的としています。

まずは、慶應義塾大学アート・センターなどアートアーカイブの先行事例を調査して、アルテピアッツァ美唄のアーカイブ構築の方向性を検討しました。収集した資料は、アートスペース内に保管スペースを確保して整理収納しています。今年度は、安田侃さんに関する新聞記事、美唄市が保管していた行政資料などを中心にデータ

ベース約 1200件を登録し、さらに、紙資料や映像のデジタル化も一部行いました。

今後も、多様な評価や運営指針の基盤となるようアーカイブ整備を丁寧に進め、管理運営に活用して参ります。なお、今年度は美唄市より緊急雇用創出推進事業として委託をうけて事業を実施しました。

12 書籍・グッズ（販売事業）

販売事業では、今年度新たに安田侃さんがデッサンしたデザインの「トートバッグ」「Tシャツ」を制作・販売しました。「訪れたお土産に」とご好評いただき、トートバッグはまもなく追加で制作しました。また、新しいTシャツには、図柄をイメージした彫刻の写真をあしらったカードを同封し、オリジナル感を出しました。

2014年カレンダーは、東京の写真家・大野繁氏の写真を使用し、委託販売なども積極的に行い、今年度は1000部以上のカレンダーを販売することができました。ポポロのみなさまはじめ、多くの方にご購入いただきありがとうございました。

13 カフェアルテの運営（喫茶事業）

今年度のカフェアルテは、お客様にアルテピアッツァ美唄の空間でゆっくりとくつろいでいただくだけでなく、美唄の味を楽しんでいただくための取り組みを行いました。

美唄でとれたかぼちゃを使用した、冬期メニューの「かぼちゃスープ」の他、今夏は人気のソフトクリームメニューに、「ベリージャムソフト」を新たに追加しました。市内農家さん協力の下、美唄市特産のハスカップやブルーベリーを使用したさわやかな甘酸っぱいソースは、大変好評をいただきました。

また、10月末から約 1か月間、試験的に平日に限ってランチをご用意しました。美唄の郷土料理「とりめし」をアレンジしたレシピで、「こころを彫る授業」参加者などに召し上がっていただいていたものを、カフェアルテのお客様にもランチメニューとしてご提供いたしました。

カフェの運営は 7年目となり、経年劣化による各種機器のメンテナンスが大きな課題です。今後も末永くお客様にこの空間を楽しんでいただくために、来年度に向けても継続して日常的なメンテナンスを行っていきます。

認定NPO法人アルテピアッツァびばい
活動計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計
I. 経常収益			
1.受取会費			
ポポロ市民会費収益	1,611,000		1,611,000
美唄ポポロ市民会費収益	53,500		53,500
コポポロ市民会費収益	4,000		4,000
会員会費収益	150,000		150,000
団体会費収益	840,000		840,000
2.受取寄附金			
募金箱寄附	1,145,678		1,145,678
寄附金	3,400,540		3,400,540
3.事業収益			
指定管理者事業収益	17,855,900		17,855,900
工房活用事業収益	1,646,500		1,646,500
炭鉱の記憶事業収益	63,930		63,930
広報事業収益	56,860		56,860
アルテ市民popolo事業収益	106,000		106,000
アーカイブ事業収益	2,855,808		2,855,808
連携事業収益	104,650		104,650
販売事業		2,802,135	2,802,135
喫茶事業		8,636,656	8,636,656
4.その他収益			
受取利息	2,136		2,136
雑収益雑収益	45,500		45,500
経常収益計	29,942,002	11,438,791	41,380,793
II. 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費	12,740,084	5,074,102	17,814,186
(2)その他経費	13,726,241	4,734,016	18,460,257
事業費計	26,466,325	9,808,118	36,274,443
2.管理費			
(1)人件費	208,526	0	208,526
(2)その他経費	6,166,544	0	6,166,544
管理費計	6,375,070	0	6,375,070
経常費用計	32,841,395	9,808,118	42,649,513
税引前当期経常増減額	-2,899,393	1,630,673	-1,268,720
法人税等	0	80,000	80,000
経理区分振替額	1,550,673	-1,550,673	0
当期正味財産増減額	-1,348,720	0	-1,348,720
前期繰越正味財産額	9,740,657	0	9,740,657
次期繰越正味財産額	8,391,937	0	8,391,937

事業別事業費内訳

科目	指定管理	工房活用	炭鉱の記憶	広報	アルテ市民	連携	アーカイブ	販売	喫茶	管理費	合計
(1)人件費											
給与手当	9,060,956	991,639					1,280,000		4,452,831	180,000	15,965,426
福利厚生費	937,951	276,000		6,000			187,538		621,271	28,526	2,057,286
人件費計	9,998,907	1,267,639	0	6,000	0	0	1,467,538	0	5,074,102	208,526	18,022,712
(2)その他経費											
売上原価		60,000	64,864	16,900	124,791		13,650	1,413,638	2,189,381		3,883,224
業務委託費	3,067,794						615,250			2,400,000	6,083,044
諸謝金			31,136	14,490			200,000		33,408	10,500	289,534
印刷製本費	89,460	8,070	40,600		613,240	15,725	1,575	11,186		1,118,370	1,898,226
旅費交通費			10,640	42,330			133,440	9,020		44,530	239,960
通信運搬費	247,072	6,440		151,314	374,360		4,870	82,264	150,777	259,482	1,276,579
消耗品費	409,767	7,782	14,874		12,067	4,851	199,688	86,573	181,055	71,256	987,913
修繕費	515,316								30,450	29,400	575,166
水道光熱費	5,027,851				2,520				195,089	77,249	5,302,709
地代家賃									120,000	388,000	508,000
繰越資産償却費										951,810	951,810
保険料	76,770	4,080	2,450						2,700	86,000	86,000
諸会費									4,000	24,500	28,500
研修費										750	750
慶弔費										79,000	79,000
租税公課	430,800	39,100	700	3,600		100	68,100	26,100	160,900	3,600	733,000
新聞図書費							1,400				1,400
賃借料							634,200				634,200
支払手数料										120,750	120,750
雑費	251,620	4,715	2,950		51,809	4,910	6,210	17,175	20,300	587,347	947,036
その他経費計	10,116,450	130,187	168,214	228,634	1,178,787	25,586	1,878,383	1,645,956	3,088,060	6,166,544	24,626,801
事業費計	20,115,357	1,397,826	168,214	234,634	1,178,787	25,586	3,345,921	1,645,956	8,162,162	6,375,070	42,649,513

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一	沿革
理事 15名	平成17(2005)年4月 設立総会
監事 2名	平成17(2005)年8月 NPO法人認証
スタッフ 常勤6名	平成18(2006)年4月 指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
	平成19(2007)年4月 カフェアルテ、ストゥディオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
	平成19(2007)年4月 第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
	平成21(2009)年10月 北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
	平成22(2010)年1月 平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
	平成22(2010)年4月 アルテ市民ポポロ制度発足
	平成25(2013)年2月 北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞 受賞
	平成26(2014)年2月 認定NPO法人に認定される

アルテピアッツァ美唄は、オープンから23年目を迎えます。このかけがえのない空間を次世代に伝えるための活動をおこなうために当NPOを設立して10年目となります。これまで、安田侃氏と美唄市と市民が手を携えて創り続けてきた経過に関わる資料を収集・整理し、将来の施設維持発展のヒントを探るべくアーカイブの整備に昨年度着手しました。

平成26(2014)年度は、施設の永続的な運営が可能となる仕組みの具体的検討をすすめ、美唄市による美術館としての位置づけに向けた「新たな美術館構想」を策定し、老朽化が進む施設の再整備計画に協働して取り組みます。「こころを彫る授業」「炭山(ヤマ)の記憶」などの自主事業についても、一層の充実をはかります。また、平成26(2014)年2月10日には所轄庁である北海道より認定NPO法人としての認定をうけたことから、寄附者の税制優遇などのメリットを活用した活動資金の調達につとめます。

皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一

アルテ市民 ポポロ アルテピアッツァ美唄のかけがえのない空間を守り、「こころのふるさと」として次世代につなげていきます。

	アルテ市民 popolo	団体会員
内 容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。	
会員になると	●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在（いま）を知ることができます。 ●年1回以上のポポロミーティングで意見を述べたり、ポポロの催しに参加したりすることができます。  ※25年度 市民証	
金 額	●市民会費 ポポロ 3,000円 コポポロ（中学生以下） 500円 美唄ポポロ（美唄在住の方） 500円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。	●団体会費 団体会員 一口 30,000円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日 までの1年間です。
●団体会員 有限会社東オートセンター 玉田産業株式会社 北海道クリーン・システム株式会社 株式会社アンビックス 宗教法人長延寺 医療法人社団北海道こども心療内科氏家医院 有限会社エスパシオ 医療法人はまなす 北海道中央労災病院せき損センター 財団法人神奈川県経営者福祉振興 東戸公認会計士事務所 株式会社丸ヨ池内 株式会社岸本組 美唄市医師会 村松法律事務所 学校法人光塩学園 美唄市議会議員会 有限会社焼とりたつみ 札幌アルト株式会社 美唄匠の会 有限会社 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 株式会社シー・アイ・エス計画研究所 広瀬建設工業株式会社 他 1社 (2014年3月31日現在)		
お申込・お問合せ先 認定NPO法人 アルテピアッツァびばい 〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町 TEL/FAX 0126-63-3137 メール arte@artepiazza.jp URL http://www.artepiazza.jp/		

アルテピアッツァ美唄 施設概要

アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻公園です。
公園には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。
炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。



アルテピアッツァ美唄のあゆみ

- 1991年 閉校した旧栄小学校の体育館を交流スペース、アートスペースに改修。
 - 1992年 7月、野外スペースを整備し、アルテピアッツァ美唄としてオープン。「真無」「吹雪」など5作品を野外に展示。
11月、アートスペースで初めての演奏会を開催。
 - 1997年 水の広場開設。「天聖」「天汰」などを設置。
 - 1998年 旧栄小学校の校舎改修。
 - 1999年 旧栄小学校2階にギャラリーを開設。
 - 2001年 10月、北海道が創設した「北のまちづくり賞」知事賞受賞。
 - 2002年 5月、安田侃さんが「第十五回村野藤吾賞」受賞。受賞対象作品が「アルテピアッツァ美唄」。
 - 2003年 7月、天皇皇后両陛下、アルテピアッツァ美唄を行幸啓。
 - 2006年 4月、指定管理者制度により、NPO法人アルテピアッツァびばいが管理運営を開始。
 - 2007年 4月、スタジオアルテ、カフェアルテがオープン。スタジオアルテでは、毎月、こころを彫る授業を開催。
 - 2010年 6月、音の広場に「真無」を設置。
 - 2012年 7月、アルテピアッツァ美唄20周年記念安田侃作品展「触れる」を開催。
- 現在、野外・ギャラリー・カフェ・アートスペースを合せて約40点の作品を展示している。

- 閉館時間
水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料
- 閉館日
毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月5日
- 交通
電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より75分。
美唄駅下車、市民バス「アルテピアッツァ
美唄」行きて約20分。
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより40分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>

